



2022年4月11日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース第67号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. 干ばつに見舞われたガーナカカオは、15億ドルの負債を支払うのに十分な数量は確保(4/9)

ガーナは、収穫量予想が当初予測を大きく下回っているにもかかわらず、農家から豆を購入するために発行された15億ドルのシンジケートローンを返済できるだけのカカオを栽培すると、カカオ豆販売業者が述べている。

世界第2位のココア生産国であるガーナは、今シーズンの生産目標である85万トンを下回る見込みであると、ガーナの豆の販売を独占する国営企業、ガーナ・ココア・マーケティング社UKを率いるフアド・モハンメド・アブバカル氏は述べました。

最大の生産国であるコートジボワールを除く、西アフリカ諸国は、昨年の記録的な150万トンの75%から80%を達成するのに苦労するだろうと、彼は言いました。ガーナでは、今クroppは年間収穫量は785,250トンを下回る可能性が高い。

それでも、「雨が降り始めれば、収穫量は増加し、融資を返済するのに必要な量を確保できるだろう」と規制当局であるCOCOBODの販売部門の幹部は述べた。「シンジケートローンの返済をカバーするためには、60万トン弱が必要です」。

COCOBODは、世界的なカカオ豆の生産量の増加が豆の取引価格を圧迫する中、国内で収穫された全ての豆を購入する十分な資金を確保し、農家がゴムやオイルパームなどのライバル作物に切り替えるのを阻止するためにシンジケートローンから融資を受けています。2021-2022年のシーズンに関する最新の契約は、中国工商银行、ロンドンのスタンダードチャータード銀行、南アフリカのネッドバンクグループなど28の銀行と結ばれました。ガーナは、これまでの歴史の中でカカオの融資は常に返済してきた。

現在ガーナのカカオ豆の収穫数量は、前年同期に比べて34%減少しており、10月1日のシーズン開始から3月24日までに52万3720トンのカカオを収穫したと、業界に詳しい情報筋は述べている。規制当局のCOCOBODの広報担当者は、コメントの要請に応じなかった。

毎年9月に終了するカカオのシーズンは、今年は特に長い乾燥の影響を受けている。「4月からは多少回復の見込みです」と前述のアブバカル氏は語った。

また、COCOBODは、ロシアのウクライナ侵攻と肥料価格への影響が、来シーズンの収穫に影響しないよう、今シーズンの土壌養分を十分に確保するための措置を講じ始めています。コスト削減策として有機肥料の使用を開始するよう農家に働きかけ、また、アフリカで有名な億万長者の実業家アリコ・ダンゴアテが所有するナイジェリアの工場から肥料を購入することも検討している。この300万トンの施設は、戦争が投入資材の価格を押し上げる中、先月に稼働を開始した所である。アフリカのカカオ農家は、ロシアとウクライナからの肥料輸入に大きく依存している。

2. カカオの OPEC がさらに大きくなる可能性 ナイジェリアが同盟に参加する見通し(4/7)

- ガーナのカカオ販売責任者、ナイジェリアが LID 制度に参加すると発言
- 西アフリカのカカオ生産国はカカオ農家のためにより高い価格を求めている

カカオ市場の OPEC が大きくなる可能性がある。コートジボワールとガーナが設立した生活所得格差制度 (LID 制度) にナイジェリアが参加する方向で調整しているのだ。

世界のカカオの約 60%を生産するコートジボワールと隣国のガーナは 2019 年に LID 制度を立ち上げ、1000 億ドル規模のチョコレート産業にプレミアムを課し、最貧困層の生産者の所得を向上させることを目指している。ナイジェリアを参加させることで、パンデミック余剰による価格低下で現在 LID 制度の努力が水の泡となっている生産国側の交渉力を強くすることが出来る。

ガーナ・ココア・マーケティング社 (UK) の代表、フアド・モハメド・アブバカル氏はインタビューで、「まもなくナイジェリアが LID システムに参加し、ますます他の国も参加することになるでしょう」と語っている。

ナイジェリア農業省は来月、ガーナのココボッドとこの問題について話し合う予定であると、代表者が木曜日に述べました。アブバカル氏は、ナイジェリアが LID システムを採用することを確実にするために、この問題が議論されるだろうと述べました。

欧州連合は、チョコレートブランドに対し、サプライチェーンに森林破壊のリスクがないことを保証するよう強制する法律の導入を計画しています。しかし、農民の公正な賃金を保証することはまだ議論されておらず、企業の監査証跡に含まれるべきであるとアブバカル氏は言う。

「しかし、倫理的な価格を支払わずに、どうやって倫理的なカカオを調達することができるのでしょうか？」英国のキャンペーン団体フェアトレード財団によると、カカオ農家は平均して、消費者がチョコレートに支払う価格の 6%を得ているそうです。

ガーナはまた、カカオ豆の販売価格を上げる手段として、ドバイや東南アジア、国内での代替的な現物市場のプラットフォームや取引所の設立を検討しています。

3. アフリカのココア。ナイジェリアの一部を除く全ての生産者が雨に恵まれている (4/4)

- ガーナ、コートジボワールのカカオの木は早魃から回復している。
- ナイジェリア南東部では乾燥した天候が続き、収穫の半ばを脅かしている

先週、アフリカのカカオ生産国全体で雨が降り、農家の豊作への期待が高まったが、ナイジェリアの一部では乾燥した天候が続き、ミッドクroppが全くない可能性があるとの懸念が高まった。

ナイジェリアの南東部では、2 月下旬の 2 回を除き、今年に入ってから農場に雨が降っていないと、地方行政区 Bende のカカオ農家、ラベディカル氏は話しています。通常シーズンであれば、今月中に収穫できるようサヤが展開し、成熟しているはずですが、今年はまだない。

今、雨が降ったとしても、収穫量は「この地域でここ何年も最低になりそうだ」とカルーは述べています。一方、トップ生産者であるコートジボワールでは、今月初めにミッドクroppの収穫が始まり、すべての栽培地域で降雨が報告されました。

「今年は昨年に比べて非常に厳しい乾季でしたが、雨が戻ってきたことで正常な状態に戻りつつあります」と、ヤムスクロ自治区の中部の町 Dougoukouadiokro の農家は述べました。「カカオの木は色を取り戻し、厳しい気候条件のもとで試された過去の乾季の影響によく耐えています」。

年2回の収穫のうち小さい方の収穫は9月末までですが、調査した農家の中には、メインシーズンの売れ残った豆を処分しようとしているので、まだミッドクロップの収穫分にはあまり関心がないと答えた人もいます。

隣国ガーナでは、先週2回の大雨で天候が「カカオ農家の味方」になったとアブジャ村の農家フランシス・アギャベンは言い、カカオの木が長い旱魃から回復しつつあると語った。「干ばつで、家族の世話をするために売る豆が一年中、今まで手に入らなかったのです。「天気が回復したとしても、それを最大限に利用するために手伝ってもらい農業者を雇うお金もないんです」。

カメルーンの農民は、価格が40%近く上昇した肥料への補助金に関する政府の発表を待っているため、投入資材のコストに懸念を抱いています。彼らは、コストを削減するために、村の生産者をグループ化して必要な農業用の投入物を大量に購入するよう助言されています。

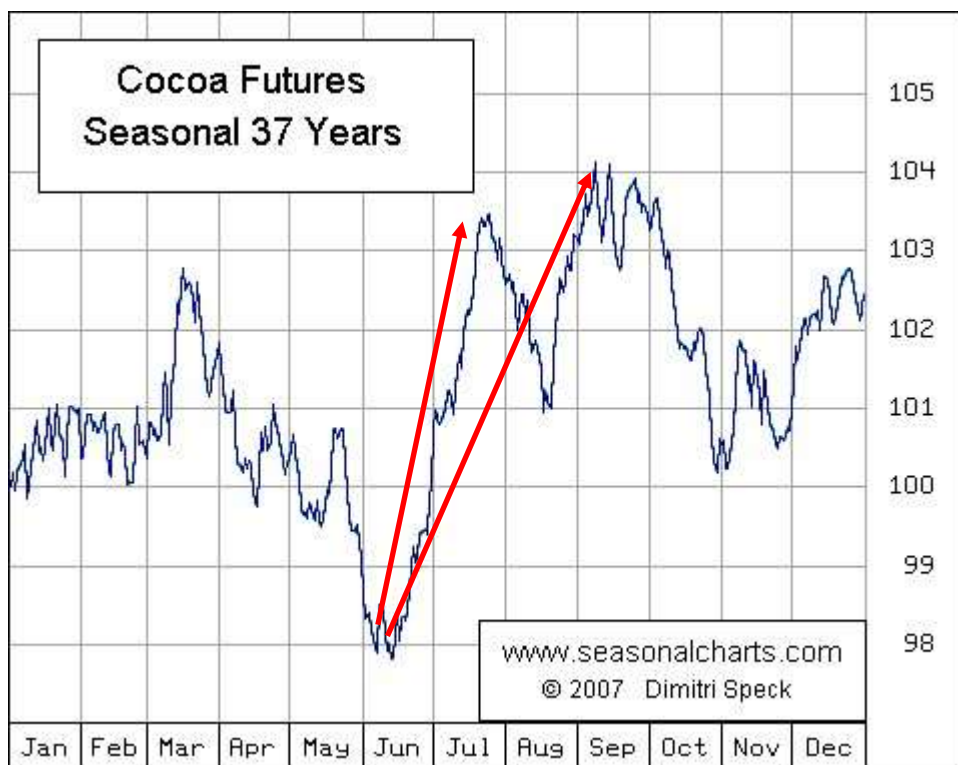
4. ナイジェリア、第4四半期にオランダへ6,050万ドル相当のカカオを輸出 (4/9)

ナイジェリアは2021年第4四半期に252億ナイジェリアナaira（6050万ドル=72億円相当）相当の一般品質のカカオ豆をオランダに輸出したと、国家統計局が報告書で発表した。

NBSの同四半期の商品価格指数と交易条件報告書によると、西アフリカのカカオ生産国は同期間に88億ナイジェリアナaira（2010万ドル=24億円）相当の高品質のカカオ豆もオランダに輸出した。

ナイジェリア・ココア協会によると、ナイジェリアは国内のカカオ豆磨砕加工設備が不十分なため、約80%のカカオを生豆のまま輸出しているとの事。

5. カカオ先物相場の季節的な変動パターンについて



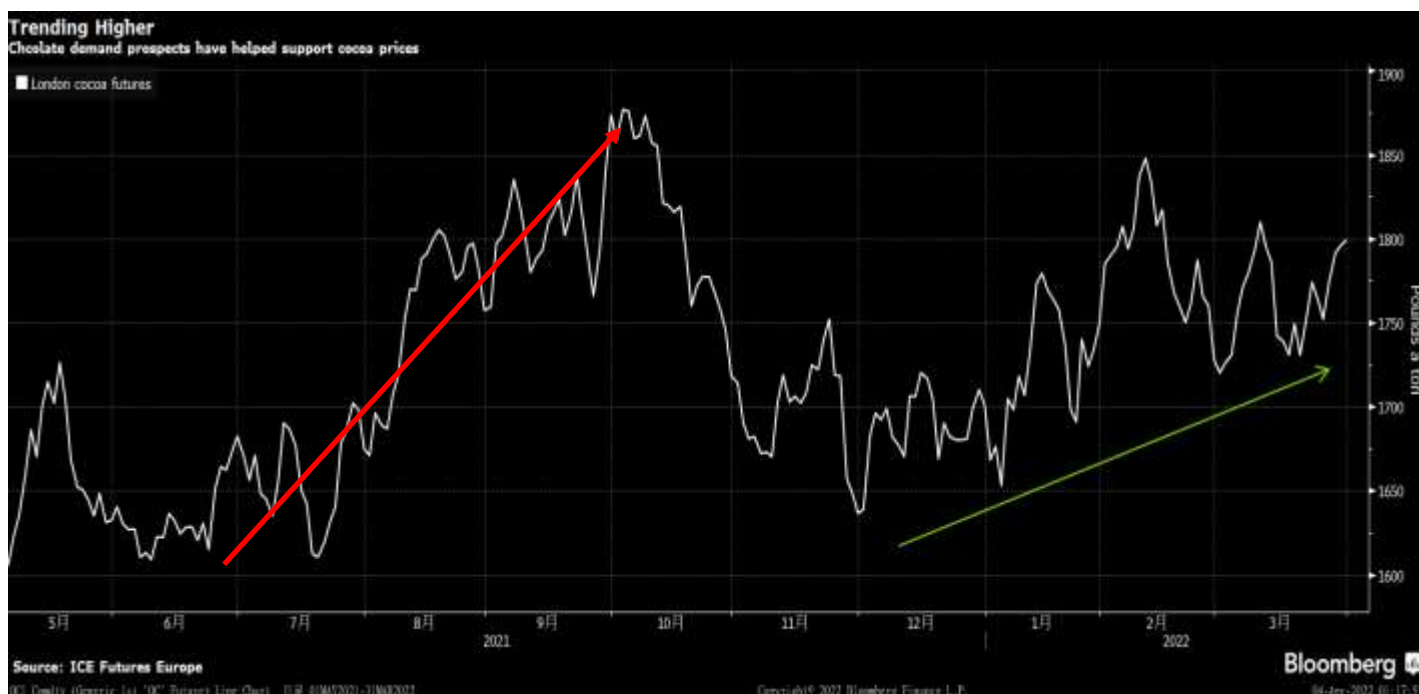
カカオ、チョコレート業界の方であれば皆様ご存じの通り、カカオの収穫は世界的に2回あり、そのうち大きな収穫は9-11月頃のメインクロップです。一方で消費のほうも北半球の先進国を中心に、秋～冬の時期で

ある 9-3 月は世界的なチョコレートの需要期といってよいでしょう。その中で、カカオ価格を示す先物価格の動きに季節性、法則性はないのであろうかと考えました。というのも、過去の自分の先物取引のデータを見ると取引量の多い限月やそのシーズンの中で取引価格の比較的高そうな時期というものがぼんやりとはありそうな気がするのです。取引量でいえば、メインクroppの収穫を取引する 12 月、3 月が中心であり、ボリュームが多く、ミッドクroppを取引する 7 月、9 月は少なくなりがちです。一方で価格の変動割合を調べてみましたが、過去 37 年間の毎年の平均価格を 100 として各月の価格がどの程度であったかを調べた資料を見つけました。

それによると、カカオの価格は 6 月の間は最も低く、9 月が最も高いようでここが一番の高騰トレンド。その次に言えそうなトレンドは、12 月、3 月。7 月がやや高騰する傾向にあるということです。

勿論、様々な毎年の出来事がありますので、あくまで統計的な優位性を示したものですが、私の感覚的な 1 年間の流れとも違和感のない統計だと思います。因みに、2021 年—2022 年も大方、過去 37 年の統計通りの動き方をしています。頭の片隅にいつも入れておいて損はない情報だと思います。

【2021-2022 年の価格の推移】



6. コートジボアール新物、3/28-4/3 の週間着荷数量は 19,732 トン (4/5)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、19,732 トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は 15,786 トンであったので現在港への着荷は増えている。10 月 1 日のシーズン開始からの総着荷数量は、約 187 万トンとなっており、過去最高であった昨年同時期の 178 万トンを上回る数字になっている。

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボーのグループ企業である Saco 社や、Olam International の関連企業である Outspan、や Cargill などの企業である。

以下は、10 月 1 日から 4 月 3 日までの上位各社の購入量 (単位：トン) の表である。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	257,215
アウトSPAN(オーラムグループ)	219,592
Saco 社(バリーカレボーグループ)	188,489
Touton 社	122,436
S3C 社	121,524
その他企業	957,788
合計	1,867,044

7. トレンド(米国) : 高ココアフラバノールのチョコレート製品ブランド「Flavor Naturals」

ハーバード大学の新しいココアフラバノール研究によると、心臓血管死の27%減少を確認。チョコレートから十分なココアフラバノールを摂取する方法 = Flavor Naturals のチョコレート食品と飲料は、ハーバード大学の画期的な研究で使用されたのと同じフラバノールレベルを提供。

Flavor Naturals のパフォーマンス・チョコレート、ココアパウダー、飲料は、ハーバード大学の画期的な21,400人規模の5年間の研究で用いられたカカオフラバノールを上回り、心血管死亡の27%減少を示すものとなっています。ハーバード大学のCOSMOS研究では、500mgのココアフラバノールを1日数錠摂取することが求められており、通常のチョコレートから同量のフラバノールを摂取する方法について疑問が呈されています。一方、このダークチョコレートのフラバ・バーは、1食あたり同じ500mgのフラバノールを摂取することができ、市場で唯一のチョコレートバーなのです。



「ハーバード大学のCOSMOS研究の説得力のある結果は、栄養パネルや食品包装にカカオフラバノールの含有量を表示する必要性を強調しています」と、著名な栄養・健康専門家のJoy Bauer MS, RDN, CDNは語っています。「現在、消費者にはカカオの割合のみが表示されていますが、カカオの含有率は、強力な差別化要因であるカカオフラバノールレベルと関連していないことが多いのです」

2022年3月にThe American Journal of Clinical Nutritionに掲載されたハーバード大学のCOSMOS研究は、1日に500mgのカカオフラバノールを摂取すると、比較品のプラセボと比較して心血管疾患による死亡が27%有意に減少することを示した。その割合は、研究プロトコルに従って毎日カカオフラバノールを摂取する研究参加者で39%に跳ね上がった。研究者らは、心臓発作や脳卒中などの主要な心血管イベントの有意な減少も発

見しました。但し、現状は、従来のダークチョコレートやココアには、1食あたり平均100~150mgのカカオフラバノールしか含まれていないため、ハーバード大学が有益と認めたレベルの摂取には、数回に分けて多くのカロリーを摂取する必要があります。

FlavaNaturalsのパフォーマンス・チョコレート製品は、500-900mgのカカオフラバノールを含有し、カロリーは1食あたり35kcalと低く抑えられています。秘密は「豆の選択と加工によります」とFlavaNaturalsの創設者アラン・フロストは言います。「カカオ豆は種類によってカカオフラバノールの含有量に10倍もの差があり、従来のチョコレート加工はフラバノールを破壊してしまいます。私たちの秘密は、世界で最もフラバノールが高いカカオ豆から始め、フラバノールを維持するために低温で自然に加工することでこの値を実現しています。FlavaNaturalsのダークチョコレート、無糖ココアパウダー、モカコールドブリュワー、チョコレートオートミルクは、平均的なダークチョコレートバーの5~9倍のカカオフラバノールを含みます。

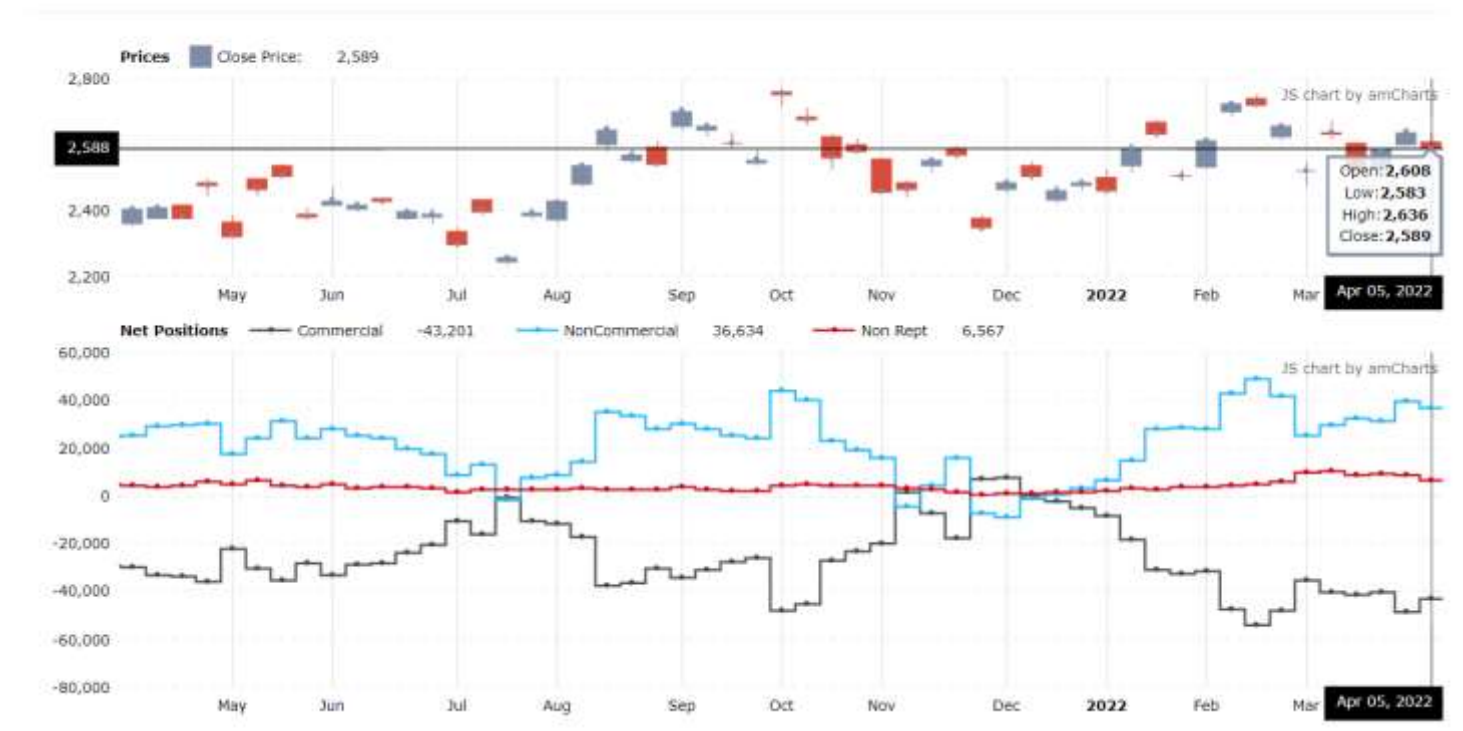
8. ファンド勢のNY先物は純買い越しポジションが減少 (4/7)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを2,381ロット減少 (先週は10,624ロット増加) させ、29,909ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、4月5日) の取引が含まれている。

- 総買い数量は 2,010ロット減少 (先週は2,903ロット増加) し、56,661ロットとなった。
- 総売り数量は 371ロット増加 (先週は7,721の減少) し、26,752ロットとなった。

参考分析資料；過去1年のNY市場の実需家VS投機筋のポジションと相場価格

Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

青線・・・ヘッジファンドやコモディティETF等の金融のみのプレイヤー

9. ファンド勢のLDN先物は純買い越しポジションが減少 (4/7)

ロンドンのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 471 ロット減少させ、17,317 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、4月5日)の取引が含まれている。

- 総買い数量は 1,563 ロット減少し、28,129 ロットとなった。
- 総売り数量は 1,092 ロット減少し、10,992 ロットとなった。総売り数量は過去7週で一番少ない数字。

参考) ロンドン市場の主要なプレイヤーのポジション状況

Commitments of Traders Futures only

ICE Futures Europe

05/04/2022

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
05/04/2022	252874	144041	167140	30353	37430	13305	25534	11649	10650
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader									
05/04/2022	100%	57.0%	66.1%	12.0%	14.8%	5.3%	10.1%	4.6%	4.2%
Number of Traders in Each Category									
05/04/2022	129	49	41	11	8	10	19	19	16

10. 「皮つき干し芋×チョコ」 新食感のおいもスイーツ!

日国産青果物卸や加工製造を行う株式会社東京フード(本社：栃木県佐野市／代表取締役社長：塚越 恒美)は、今年2月より「皮つき干し芋×チョコ」の発売を開始した。独自の製法で皮付きのまま干し芋にし、外側はパキッと、内側はしっとりとした新食感を楽しめる商品となっている。

東京フードの本社新店舗、いも家 kaneki (所在地：栃木県佐野市)は、以前から干し芋の製造工程で出る規格外の芋の付加価値を付けた商品化を試みていた。本商品は、露店で販売されているチョコバナナから着想を得たという。

さつま芋は、茨城県産のシルクスイートを原料とし、東京フードが生産者と直接取引をする契約農家から取り寄せている。さつまいもの風味を最大限生かすために、高級菓子に使われるオランジェット(砂糖漬けの柑橘類の皮をチョコレートでコーティングしたフランス生まれのお菓子)をイメージし、さつま芋の皮をうまく活用することで、チョコレートとの相性が良い商品に仕上げた。

食品廃棄物を減らすSDGSにも貢献できる本商品に、期待が高まっている。



*茨城県銚田市の契約農家、梶間農園の梶間章氏

*説明および写真は下記プレスリリースより

https://kyodonewsprwire.jp/prwfile/release/M106792/202204029536/_prw_PR1f1_8BaAw3rd.pdf

11. 株式会社立花商店 オーガニックフード EXPO2022 出展予定

この度、株式会社立花商店はオーガニックフード EXPO2022 に出展致します。

日付：2022年4月13日（水）～2021年4月15日（金）

時間：10時～17時

場所：東京ビックサイト 東3～6ホール

展示商品：オーガニックチョコレート、オーガニックデーツのチョコレートがけ、カカオフルーツ製品、ウガンダローカカオニブ、カカオマス、ココアパウダーなど

参加方法：事前にWEBで登録していただくと無料で参加いただけます。

*展示会の詳細説明は下記ホームページより

<https://ofj.or.jp/ofe/top.html>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。